

浜口陽三と国際メゾチント展

# TIME OF THE MEZZOTINT

# 星より遠い色

COLORS BEYOND THE STARS

会期(予定)

2014 10/11<sub>[土]</sub> → 12/23<sub>[火・祝]</sub>

出品作家一覧(出身国/居住国)

范敏(中国) 1963-

Fan Min

浜西勝則(日本) 1949-

Katsunori Hamanishi

ヤロスワフ・イエンドゥジェヨフスキ(ポーランド) 1975-

Jaroslav Jędrzejowski

黒柳正孝(日本) 1961-

Masataka Kuroyanagi

クリストファー・ノヴィツキ(アメリカ/ポーランド) 1950-

Christopher Nowicki

ユリス・ペトラッシュケヴィチウス(ラトビア) 1953-

Juris Petraškevičs

アンッティ・ラタラハティ(フィンランド) 1964-

Antti Ratalahti

グンタース・シェティンシュ(ラトビア) 1962-

Guntars Sietiņš

アド・ステインマン(オランダ) 1957-

Ad Stijnman

ユッカ・ヴァンッティネン(フィンランド/スウェーデン) 1954-

Jukka Vääntinen

マイラ・ゼネリ(アルバニア/ドイツ) 1980-

Majla Zeneli

浜口陽三(日本/フランスとアメリカ) 1909-2000

Yozo Hamaguchi



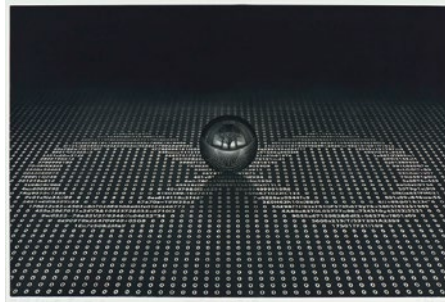
(A)



(B)



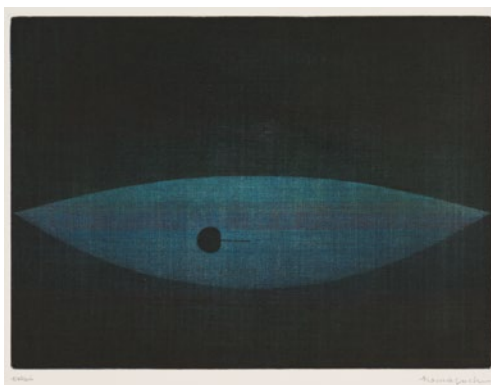
(C)



(D)



(E)



(F)

(A) Between マイラ・ゼネリ  
2011年 カラーメゾチント  
10.5×8.2cm

(B) Untitled 4 アド・ステインマン  
2003年 メゾチント  
15.5×21.2cm

(C) The Sleep  
ユッカ・ヴァンッティネン  
2006年 メゾチント 49.5×72.5cm

(D) Characters XIII / ∞ - A  
グンタース・シェティンシュ  
2012年 メゾチント、アクアチント  
59.6×89.8cm

(E) Entropy / Tractor  
クリストファー・ノヴィツキ  
2008年 メゾチント 45.4×60.6cm

(F) 黒いさくらんぼ 浜口陽三  
1960年 カラーメゾチント  
19.4×26.6cm

## 展覧会概要

会期(予定): 2014年10月11日(土)~12月23日(火・祝)

開館時間: 11:00~17:00(土日祝10:00~17:00 最終入館16:30)

入館料: 大人 600円 大学・高校生 400円 中学生以下 無料

休館日: 月曜日(10/13、11/3、11/24は開館)、

10/14(火)、11/4(火)、11/25(火)

※休館日、開館時間等は都合により変更する場合がございます。

※11/3(月・祝)、11/24(月・祝)、11/29(土)はイベント開催のため、1階会場が鑑賞しにくくなります。

## ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸船町1-35-7

Tel: 03-3665-0251 Fax: 03-3665-0257

Mail: musee@yamasa.com

HP: <http://www.yamasa.com/musee/>

アクセス: 東京メトロ半蔵門線[水天宮前]3番出口そば

東京メトロ日比谷線[人形町]A2出口徒歩8分

首都高速箱崎1C[浜町出口]または[清洲橋出口]東京シティアターミナル駐車場前

**ごあいさつ**

20世紀半ばに世界的に活躍した芸術家・浜口陽三と、現代作家11人の展覧会です。  
 タイトルの「MEZZOTINT:メゾチント」は、手工芸的な緻密さで、ピロードのような色を生み出す17世紀  
 以来の銅版画技法を指します。音楽ならバロックの時代に発明されたこの技法を用いて、はらかな色を  
 求めて制作する人々が今も世界中にいます。

この国際メゾチント展は、3年前にスタートした作家主導の巡回展で、国内では作品のほとんどが  
 初公開です。夢、風景、抽象理念など、様々なテーマを深い色味と肌合いで表現し、まるで扉をひとつ  
 ぐり抜けて、奥の世界へといざなわれるようです。本展は、ラトビア、ポーランド、中国を回り、これから  
 北欧へ巡回します。メゾチントに色彩を持ち込んだ開拓者、浜口陽三の作品と共に、現代の先鋭の  
 メゾチントを8カ国12名約60点で構成します。

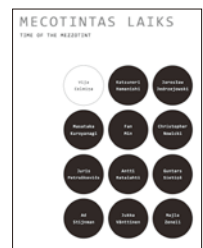
展覧会の顧問には参加作家でもあるステインマン氏を迎え、図録に歴史解説を書き下ろしてもらいました。

**巡回展企画者のことば**

このメゾチント展を企画した背景には、伝統的な銅版画技法の中で、最も古いものの一つで、もっとも難しく、  
 しかしながら最も美しい表現があることを知ってもらうことにあります。最初のメゾチントによる版画は  
 1642年に作られましたが、その後、技術はほとんど変化していません。現在では、制作に大変時間を要するため  
 に、あまたいる版画家の間で、この技法は多く使われるわけではありませんが、しかし表現はとても独特です。

この展覧会を開催するために、国際的に活躍する12人のメゾチント作家で、各国考えられる1人~2人を  
 集めました。どの芸術家も、世界的に知られ、水準の高いメゾチント技法を用いて独特のイメージを創り  
 あげる作家です。

私たちは、この展覧会が、メゾチントの美しさを広め、デジタル画像の時代にあっても、いまだにこの伝統的な  
 技術の美しさへの興味があることを知っていただきたいと思います。そして事実、この技法を使った作品は、  
 デジタル技術を超える独特の表現を可能にし得るのです。



ラトビアでの展示カタログ

*Guntars Sietiņš & Christopher Nowicki*

グンタース・シェティンシュ(ラトビア)と

クリストファー・ノヴィツキ(アメリカ/ポーランド)

2014.7

**おしらせ**

**Special 1** 星空をつくる、メゾチント体験コーナー

入館していただいた方どなたでも気軽に  
 メゾチントの製版を体験できるコーナーを会場内に  
 設けました。展覧会タイトルにちなんで、5cm角の  
 小さな星空のメゾチント作品をつくれます。  
 完成した版は当館で紙に刷り、ご自宅へ郵送します。



イメージ画像

**Special 2** 限定カフェメニュー  
 「チョコレートのムース」(製作: Afterhours)

浜口陽三作品をイメージしたオリジナルケーキです。  
 チェリーをアクセントに濃厚な風味が口に広がります。  
 展覧会中の土日祝日に限り、  
 美術館カフェのメニューに登場します(数量限定)。



イメージ画像

開催時間: 開館日の15:00~17:00

所要時間: 10分~60分程(こだわるほど時間がかかります)

参加費:350円

関連イベント

メゾチントの味わいのある色や、細かい点々を銅版に刻む表現ということにつなげてイベントを企画しました。

1~4のイベント申込方法：9/24(水) 11:00より電話にて受付開始(先着順)

### 1 記念講演会 「カラーメゾチントの歴史」

17世紀にオランダで発明されたメゾチント技法が、芸術表現として今日に至る流れを、色彩版画に限定して、貴重な画像と共に解説していただきます。  
講演者は、2012年にイギリスで刊行された銅版画技法史の著者であり、展覧会顧問のステインマン氏です。

講師：アド・ステインマン Ad Stijnman (版画家、版画技法史家)  
日時：10/20(月) 講演17:00~(90分ほど)  
講演後に自由参加のお茶会がございます。

定員：50人  
参加費：入館料+200円

※休館日のため参加者のみご入館いただけます。

### 2 ワークショップ 「点々模様でつくる冬のカード」

オリジナルの模様を考え、消しゴムハンコでポストカードをつくります。  
完成したカードはクリスマスや年賀状につかってみてはいかがでしょうか。

講師：岡 理恵子(点と線模様製作所、テキスタイル作家)  
日時：10/27(月)

【午前の回】10:30~12:30  
【午後の回】14:30~16:30

定員：各回10人  
参加費：入館料+1200円(材料費)  
持ち物：事前に考えた図案2種\*、筆記用具、はさみ、カッター  
\*7×10cmの四角い枠の中に濃いめの鉛筆で描いてください。  
木でも鳥でも、おうちでもなんでも良いです。

※休館日のため参加者のみご入館いただけます。



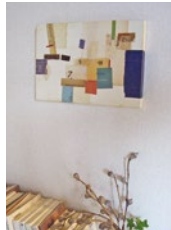
イメージ画像

### 3 ワークショップ 「コラージュパネル、飾れるトレイ」

写真や身の回りにある紙を少し加工して味わいのある色を引き出し、木製パネルの裏表にコラージュします。  
壁にかけて飾っても、裏返してトレイとして使っても素敵です。

講師：井上 陽子(イラストレーター)  
日時：11/29(土)  
【午前の回】10:30~12:30  
【午後の回】14:30~16:30

定員：各回8人  
参加費：入館料+1900円(材料費)  
持ち物：はさみ、カッター、カッターマット、  
定規、筆記用具



イメージ画像

### 4 トークイベント 「植田正治のカメラ的メゾチント表現」

日本を代表する写真家の一人、植田正治(1913-2000年)はメゾチントの深い黒に魅了され、写真に取り入れようとしていました。  
植田正治の孫であり、その作品づくりを近くで体感してきた増谷氏に、スライドを見ながらお話いただけます。

講師：増谷 寛(植田正治事務所)  
日時：12/6(土) 17:30~18:30  
定員：50人  
参加費：入館料+200円

※閉館後の開催となります。



シリーズ「静物」より  
1991-1993年 銀色素漂白方式印画

### 銅版画・モノクロームメゾチント体験教室

1回の実習で製版から刷りまでを行ない、ポストカードサイズの作品を完成させます。  
初めての方でも無理なく参加いただける、初心者向けの教室です。

講師：江本 創(アーティスト)  
日時：①11/3(月・祝)②11/4(火)③11/24(月・祝)④11/25(火)  
時間は①~④全て14:00~17:00

参加費：<<初心者コース>>入館料+1800円(材料費込み)  
<<経験者コース>>※当館のメゾチント教室に参加された事がある方  
入館料+500円(メゾチントプレート代別途1000円)

定員：18名  
持ち物：下絵(サイズ12×7.5cm)、汚れても良い服装またはエプロン

申込方法：10/15(水) 11:00より電話にて受付開始  
(初めての方優先、定員になり次第終了)

※11/4(火)、11/25(火)は休館日のため参加者のみご入館いただけます。

### プレスリリース ご担当者様へ

ぜひ展覧会にお越し下さい。  
あわせてご取材いただけますと幸いです。  
画像をご希望の際は、画像のアルファベットをお申し付けください。  
お問い合わせは広報担当の新田まで  
よろしく申し上げます。

掲載情報について、  
詳細は当館webサイト  
またはお電話にて  
ご確認ください。